

# 秋の話題と博物館

山不作の年のきのこ展 (平成23年9月25日~10月16日)



昨年はCOP10にあわせた特別展をしていたため、2年ぶりの開催となりました。次の友の会35年の歩み展をひかえ、期間は少し短めです。野生のきのこが並ぶことが人気のきのこ展なのですが、今年は肝心のきのこが極端に少なく、淋しいものになりました。きのこの相談や持ち込みも例年の1/10。展示室の中央の机には、硬いサルのコシカケのなまはばかりが場所を占有していました。

## 学校の博物館利用と水族館の博物館利用

- 10月6日 舟着小学校6年生(12+2名) 地層学習と化石採集カイド
- 10月11日 東三河地区高等学校理科教育研究会の研修(6名)
- 10月12日 黄柳野小学校「きのこ観察会」(13+7名)
- 10月23日 碧南海浜水族館「きのこ観察会」(21名)
- 10月24日 東郷西小学校3年生(54+4名)



学習会「木地師の里の秋の植物」  
(平成23年10月30日、くもり、17名参加)

設楽町の面ノ木周辺の植物を楽しみながら観察しました。標高は1000m以上あります。ブナ原生林は300年以上の樹齢の樹もあり、倒木にはムキタケが出ていました。鳳来寺山では見られない植物やきのこに出会えて、うれしい一日でした。

学習会「きのこを調べよう」(平成23年10月9日、はれ、35名参加)



コウボウフデ  
(うでこき山で初記録)

桜淵公園のうでこき山周辺でおこないました。4種が同定されましたが、約半数は硬質菌で、やわらかなきのこはわずかしかが見られませんでした。今年の秋は、こんな日が続いています。そういえばツツクボウシがまだ鳴いていました。まだ、夏のような気分になります。

全国博物館大会・石川県  
(平成23年10月20~21日)

博物館法制定60周年記念大会が金沢市で開催されました。テーマは「地域と博物館」です。大会2日目の第3分科会では、小規模博物館の運営をテーマとして「鳳来寺山自然科学博物館の運営と実跡」について館長が講演しました。鳳来寺山麓にある小さな博物館の活動の姿をありのまま報告しました。全国の博物館関係者に当館を知ってもらうよい機会になりました。



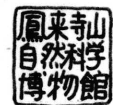
ここにもいました!  
(平成23年10月14日)

棚山直下の副川大双瀬の民家で「モモンカ」が見つかりました。水を張ったバケツに落ちたらしく、おぼれてしまったみたいです。

鳳来寺山だけではなく、隣の棚山でも生息していることがわかりました。空中は飛べると水中にはかたてのようです。



はつなだより 10.15/2011.10



「領家帯の滝めぐり」ツアー  
(平成23年10月23日(18名参加))

9月4日の雨で延期していた現地見学ツアーです。新城の地質を2分する領家帯にかかる滝を訪れました。初めてたずねる滝が多く、花崗岩の第一者で、学術委員の仲井先生の案内で充実の観察会になりました。



只持の不動滝

ジュニアナチュラリスト養成楽級・山の学校  
「森のこびと教室」第3回「きのこの見方」  
(平成23年10月16日、はれ、10+7名)

台風15号の被害で通行止めが続く国道30号線と避け、急ぎ博物館周辺でおこないました。ここでもきのこの発生は少なかったです。きのこ展の会場で、きのこの見方やおはたらきを学びました。

ミュージアムショップの品ぞろえ

人気のイタドリ杖は小椋さんが真から準備をしてくれています。今、博物館職員と新商品開発に挑戦中です。手拭、暖簾、ハンカチなどの商品化を目指しています。定番の岩石、鉱物標本も充実させています。

